2022年9月期 決算説明

2022年11月29日

ホソカワミクロン株式会社

© HOSOKAWA MICRON CORP.　All rights Reserved.

1．2022年9月期 決算概要

2．2023年9月期 業績予想

3．中期3カ年経営計画の進捗とトピックス

4．参考資料

© HOSOKAWA MICRON CORP.　All rights Reserved.

1．2022年9月期 決算概要

2．2023年9月期 業績予想

3．中期3カ年経営計画の進捗とトピックス

4．参考資料

© HOSOKAWA MICRON CORP.　All rights Reserved.

決算概要

連結

受注高	売上高	営業利益
750億円	669億円	55億円
前期比 7.6%増	前期比 10.1%増	前期比 13.5%減
過去最高	過去最高	

粉体関連事業

受注高	売上高
571億円	494億円
前期比 16.8%増	前期比 8.4%増
過去最高	過去最高

プラスチック薄膜関連事業

受注高	売上高
179億円	174億円
前期比 14.0%減	前期比 15.5%増
	過去最高

© HOSOKAWA MICRON CORP.　All rights Reserved.

決算ハイライト

受注高は過去最高となる750.3億円（前期比7.6%増）

＊コロナ禍やウクライナ情勢による大きな影響はなし

売上高は過去最高となる669.1億円（前期比10.1%増）

*増収ながらサプライチェーンや物流の混乱から納期の長期化傾向続く

受注残高は過去最高の499.7億円（前期比34.4%増）

＊長納期化による受注先行・売上遅延傾向の影響

営業利益は55.1億円（前期比13.5%減）と減益

＊原材料費高騰・人件費の増加が主要因　売上総利益率は1.7pt低下

© HOSOKAWA MICRON CORP.　All rights Reserved.

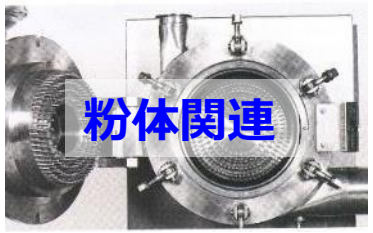
好調分野

日本・アジアグループ

アメリカグループ

欧州グループ

医薬品が全世界で継続して好調



粉体関連

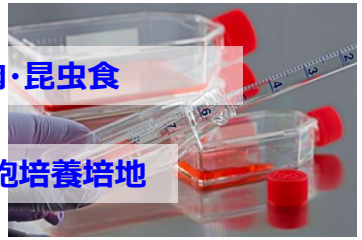
リチウムイオン電池（原材料、電極用粒子）

電子材料

豆を使った植物肉・昆虫食

医薬品製造用の細胞培養培地

ポリエステルフィルム工場内
リサイクル



プラスチック薄膜
関連

包装用フィルムなどの
さらなる多層化

リサイクル容易な
・生分解性フィルム用
・単一素材フィルム用

© HOSOKAWA MICRON CORP.　All rights Reserved.

経営成績

（億円）	2022年9月期 通期実績	2021年9月期 通期実績	増減率 （%）	2022年9月期 （公表・通期予想）	増減率 （%）
売上高	669	607	10.1	640	4.6
営業利益	55	63	△ 13.5	56	△ 1.5
経常利益	57	65	△ 12.2	56	3.1
親会社株主に帰属する当期純利益	40	46	△ 14.7	42	△ 4.6
1株当たり当期純利益(円)	247.11	290.07	△ 14.8	259.15	△ 4.6

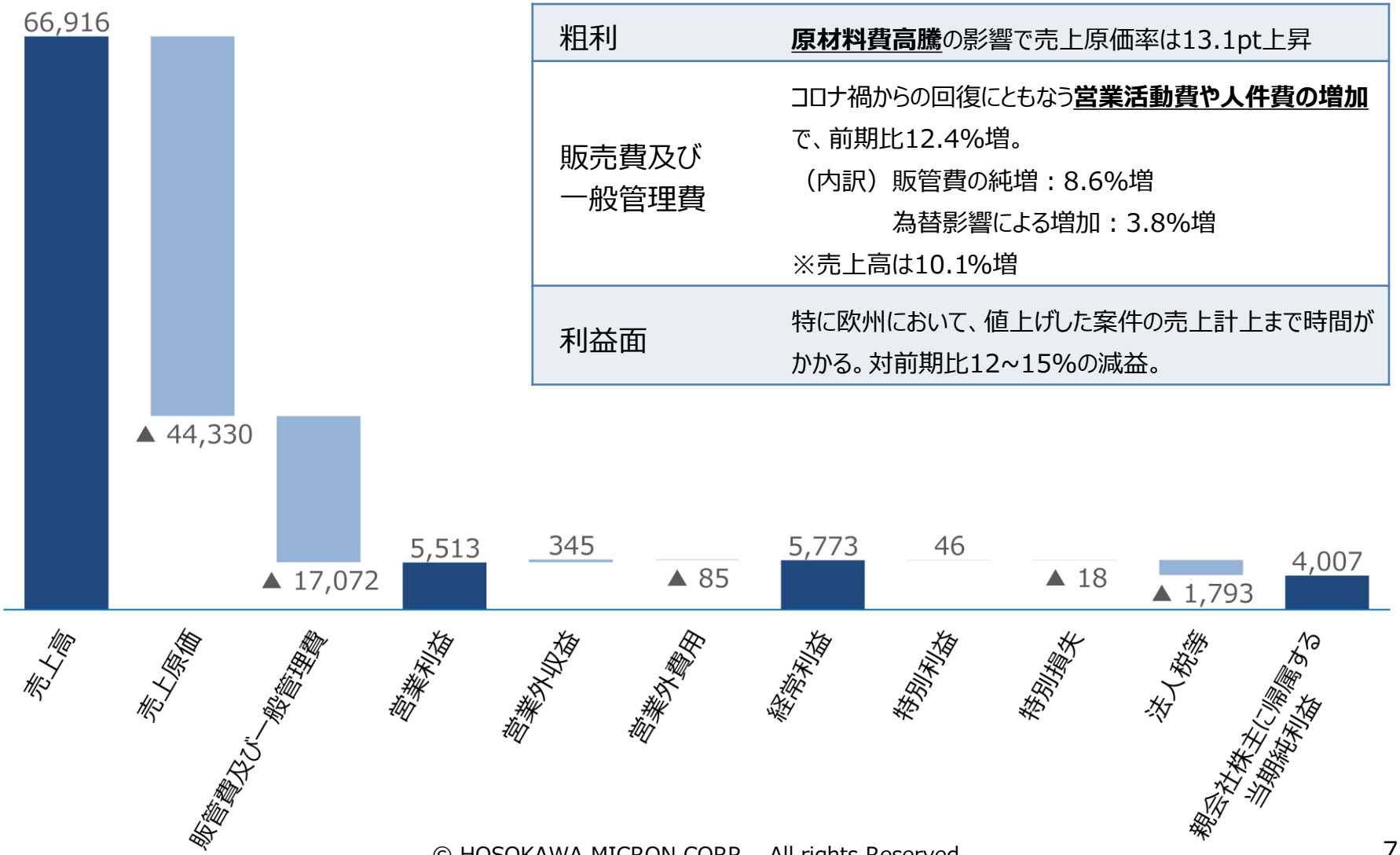
為替レート（期中平均）	通期	2022年9月期	2021年9月期
	US$（米ドル）	124.46円	107.50円
	€（ユーロ）	134.47円	128.50円

為替感応度（百万円）	USD	EUR
受注	111.7	282.4
売上	105.0	264.2
営業利益	9.5	16.7
経常利益	9.9	16.7
当期純利益	8.4	11.6

© HOSOKAWA MICRON CORP.　All rights Reserved.

損益

（百万円）

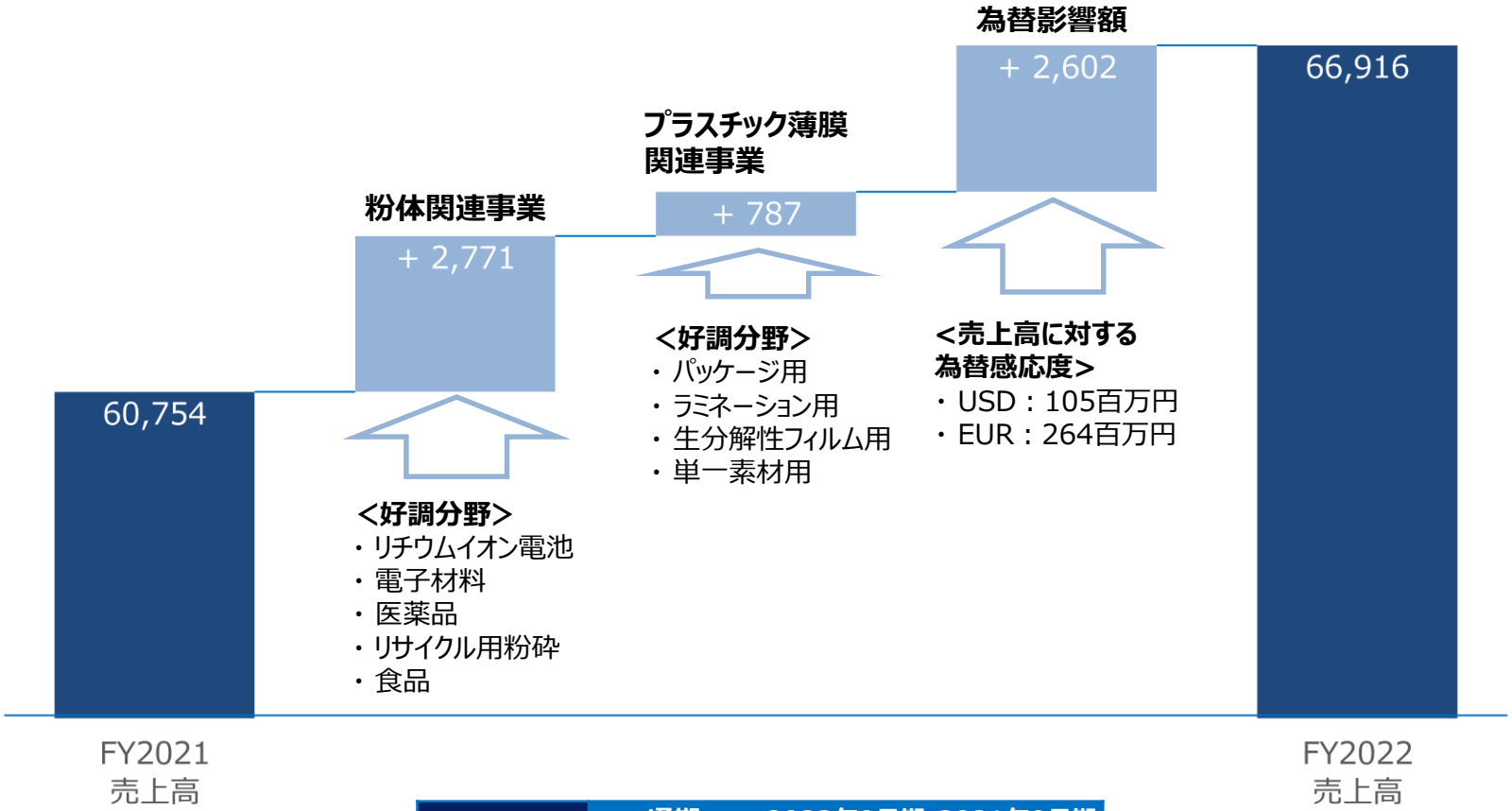


粗利	**原材料費高騰**の影響で売上原価率は13.1pt上昇
販売費及び一般管理費	コロナ禍からの回復にともなう**営業活動費や人件費の増加**で、前期比12.4%増。 （内訳）販管費の純増：8.6%増 為替影響による増加：3.8%増 ※売上高は10.1%増
利益面	特に欧州において、値上げした案件の売上計上まで時間がかかる。対前期比12~15%の減益。

© HOSOKAWA MICRON CORP.　All rights Reserved.

売上高増減要因

（百万円）



為替レート（期中平均）	通期	2022年9月期	2021年9月期
	US$（米ドル）	124.46円	107.50円
	€（ユーロ）	134.47円	128.50円

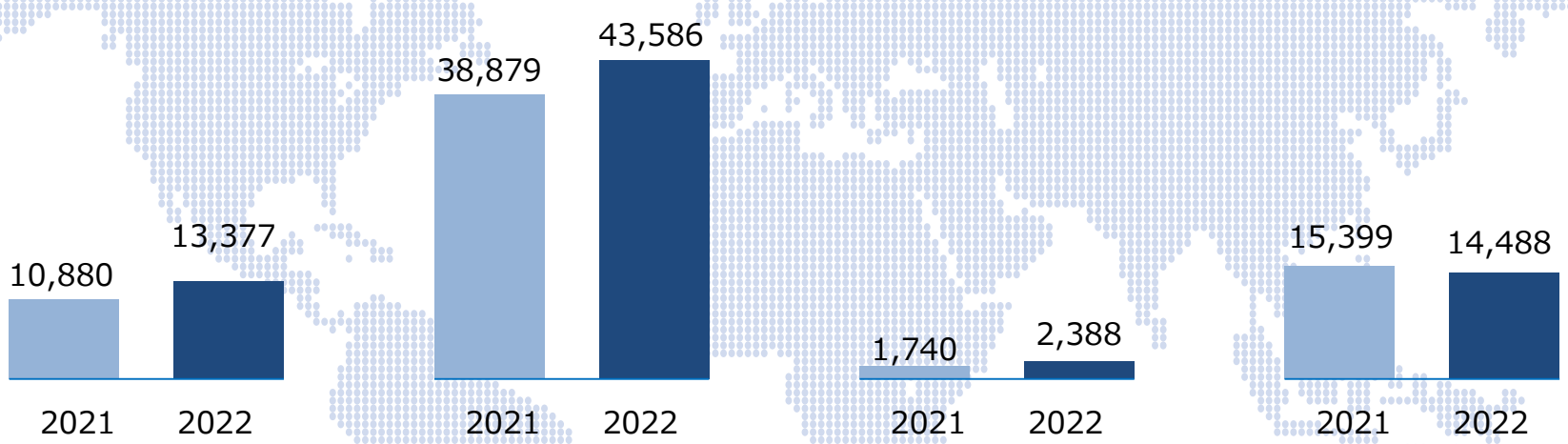
※FY2022の売上高(現地通貨）を、FY2021の各通貨における期中平均レートで邦貨換算し、各セグメント増加額・為替影響額を試算

© HOSOKAWA MICRON CORP.　All rights Reserved.

売上高の状況（グループ会社所在地別）

- FY2022の海外売上高比率は約80%
- グループとして増収傾向ながら、総利益率の低い欧州での増収が際立ち利益伸びず

（百万円）



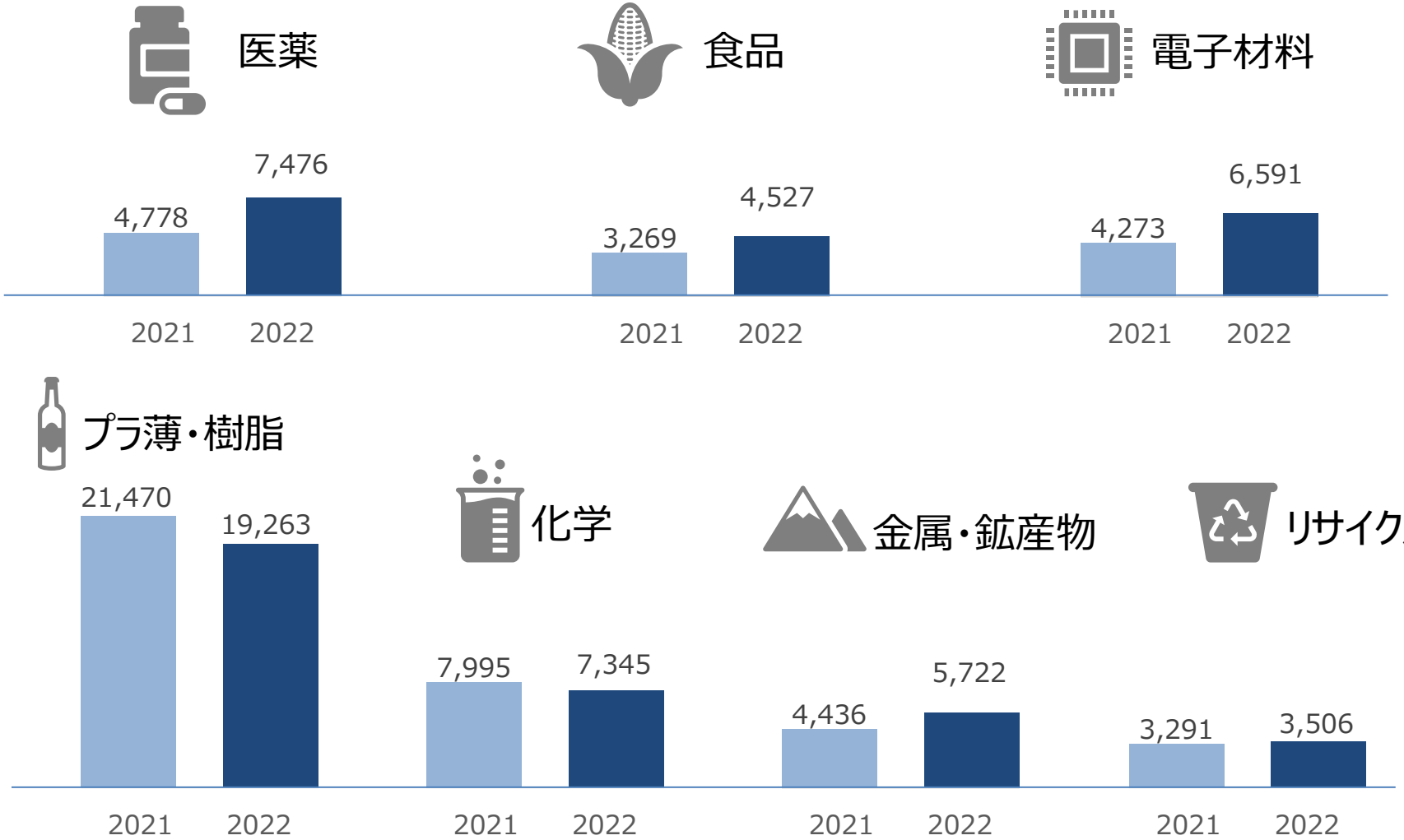
総利益率 ： 中　小　中　大

※グループ間の内部取引調整前の売上高

© HOSOKAWA MICRON CORP.　All rights Reserved.

受注高の状況（産業分野別）

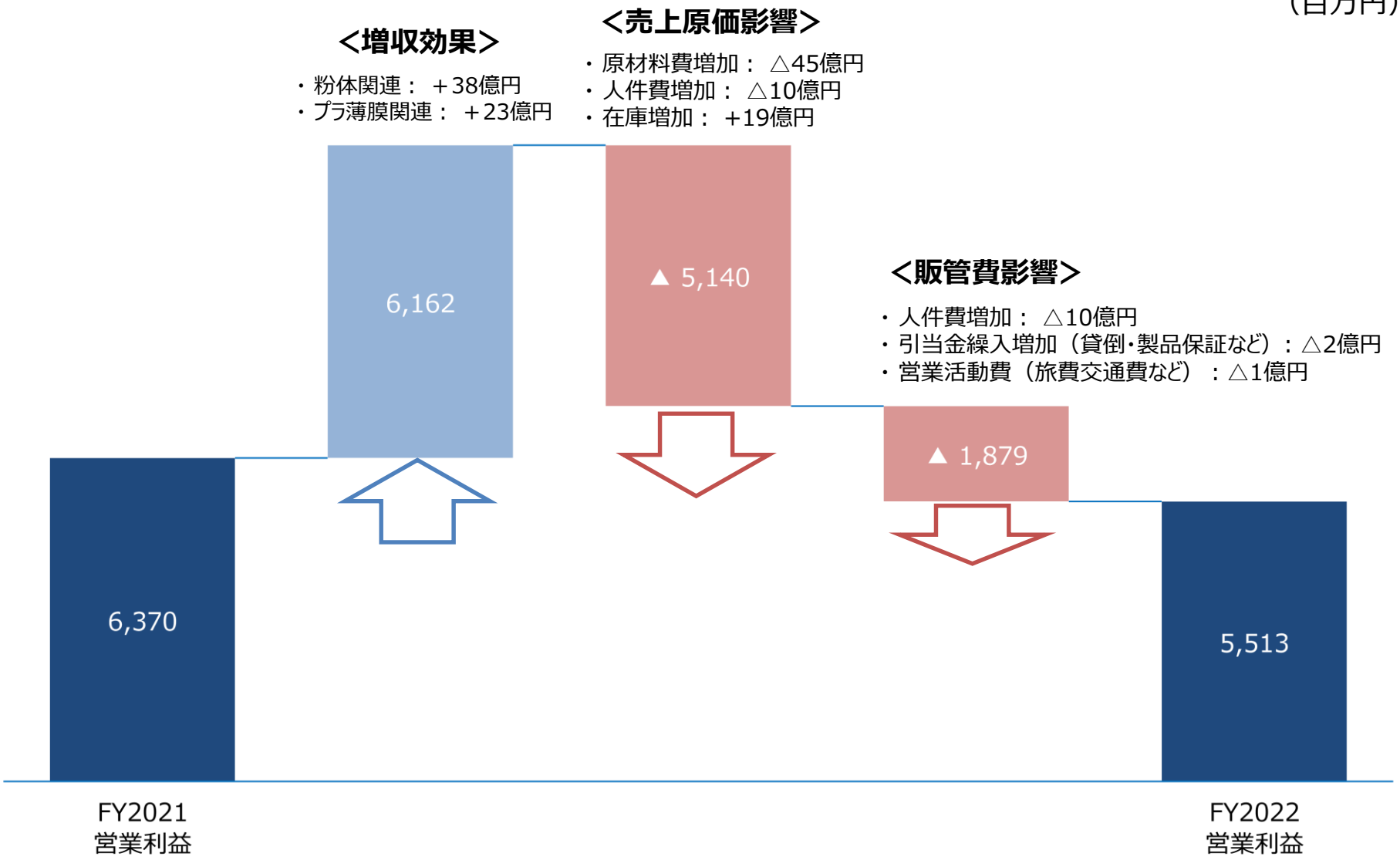
（百万円）



© HOSOKAWA MICRON CORP.　All rights Reserved.

営業利益増減要因

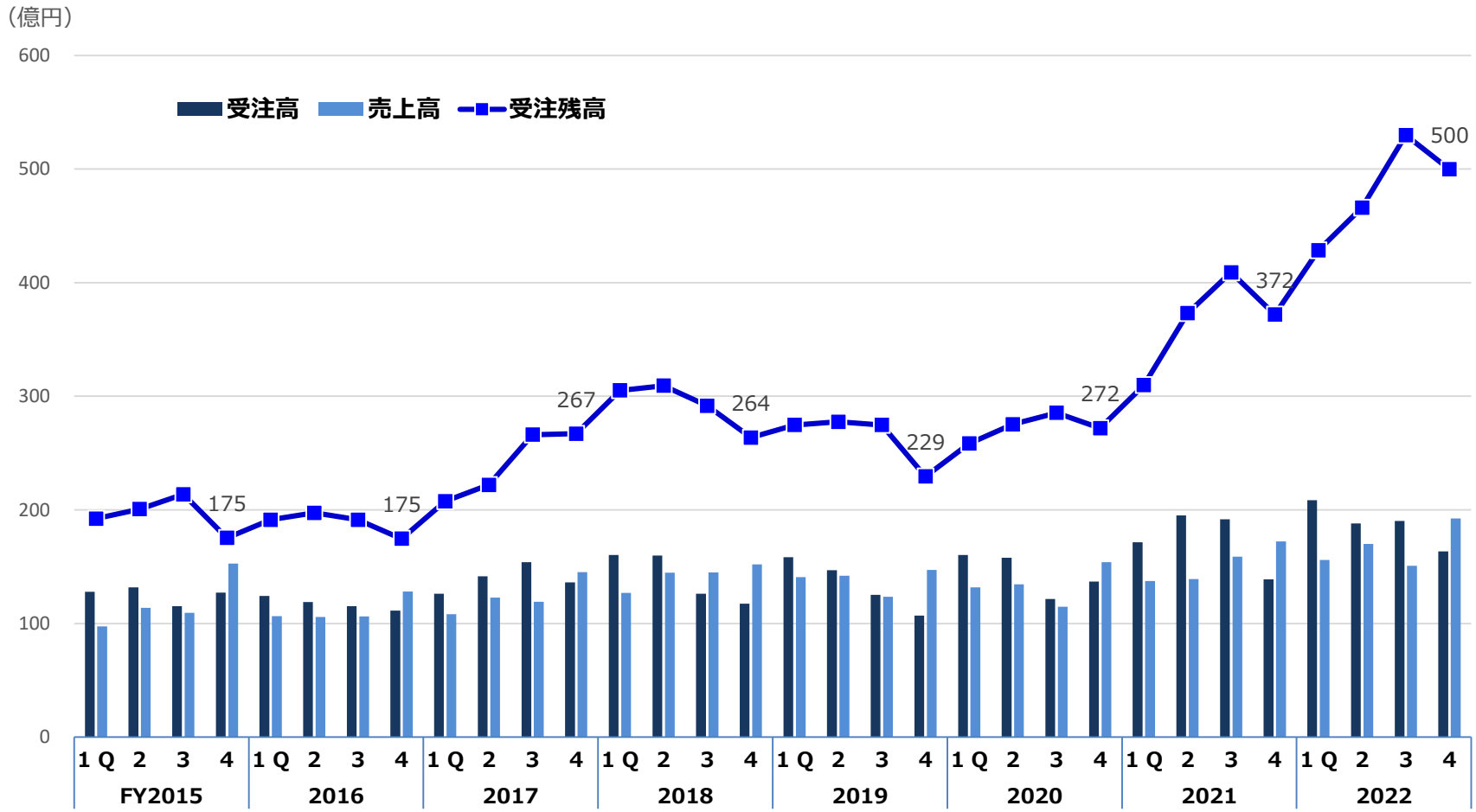
（百万円）



© HOSOKAWA MICRON CORP. All rights Reserved.

受注高・売上高・受注残高の推移

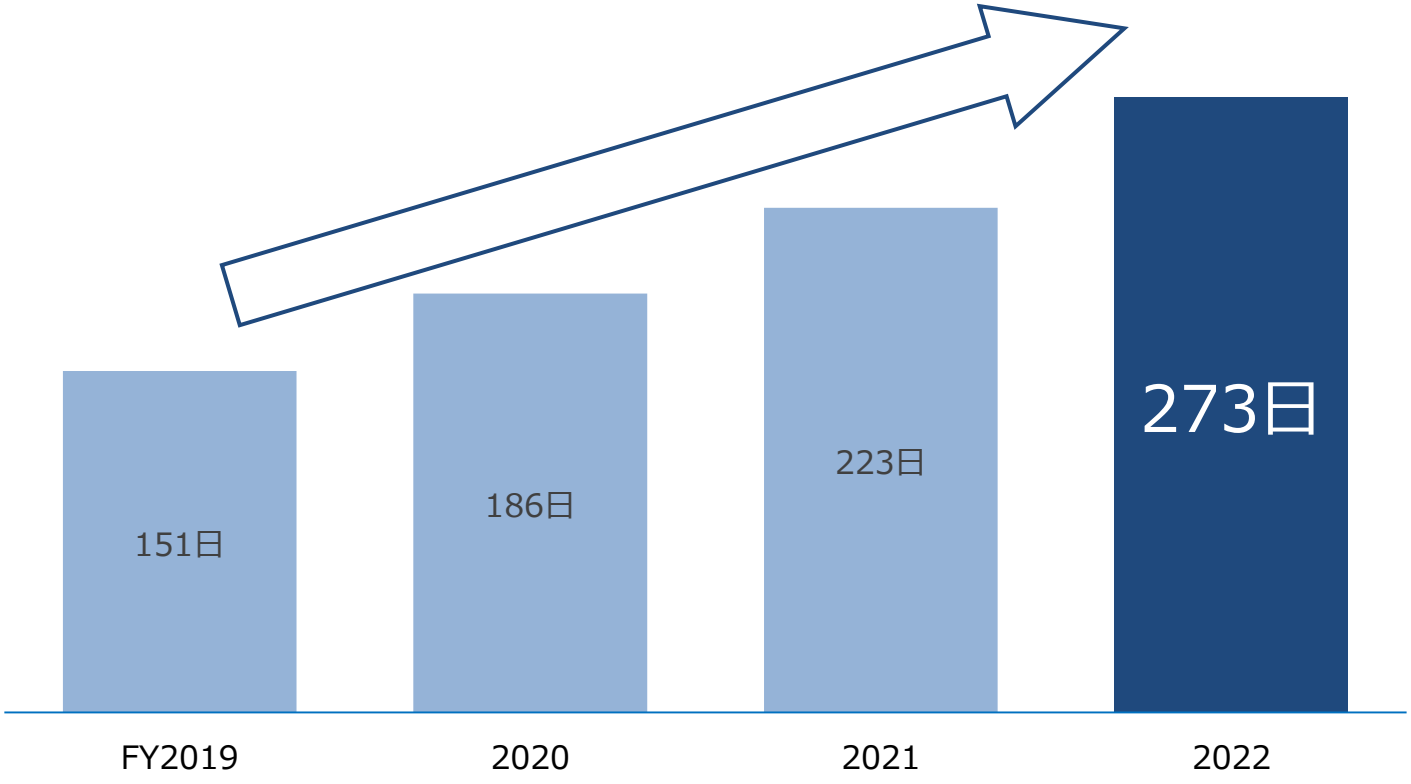
✓ 好調な受注に加えて、サプライチェーンや物流の混乱による納期の長期化傾向により
2023年度期首の繰越受注残高は過去最高（約500億円）



© HOSOKAWA MICRON CORP.　All rights Reserved.

受注残 滞留日数 推移

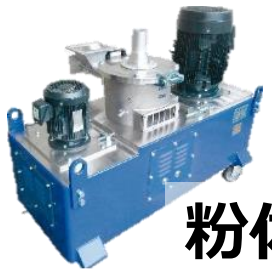
✓ FY2019に比べ、FY2022は滞留日数が**1.8**倍に増加



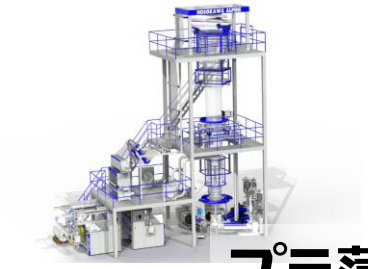
※受注残 滞留日数 ＝ $\frac{\text{受注残}}{\text{1日あたりの売上高（売上高÷365日）}}$

© HOSOKAWA MICRON CORP.　All rights Reserved.

納期（受注～検収：リードタイム）の推移（概算）



粉体



プラ薄

	通常納期		現在
粉体	6ヶ月	▶	12 ヶ月
プラ薄	11ヶ月	▶	16 ヶ月

▼

粉体とプラ薄の売上比率を考慮すると、
全体での納期は期初から **1.2**倍
コロナ前からは**1.8**倍長くなっている

© HOSOKAWA MICRON CORP.　All rights Reserved.

長納期調達部材の事例

事例：電気計装品 FY2022調達状況　（39品番を購入）

	kW	0.1	0.2	0.4	0.75	1.5	2.2	3.7	5.5	7.5	11	15	18.5	22	30	37	45	55	75	90	110
200V（低圧）	A型			13	1	3	2	2	2	2	13	1	1	4	3		1				
	B型								11												
	C型		3	12	7	3		1	3												
	D型																				
	E型																				
400V（高圧）	A型					7	1	1	1	1		2		6	5		1			1	
	B型								4	1											
	C型	1		9	5		3	3													
	D型			4																	
	E型																	1			

▼

装置はカスタマイズ生産のため、**少量多品種の部材調達**となる

- ▶ 受注後に設計仕様が決定　⇒　部材の先行調達ができない
- ▶ まとめ発注が出来ない　⇒　納期交渉が難航
- ▶ 在庫対応が困難

© HOSOKAWA MICRON CORP.　All rights Reserved.

長納期化に対して実施した施策

納期短縮のための在庫増加もしくは内製化

▶ 少量多品種生産では対応困難

▼

受注促進し、受注残高を増加させる

FY2019期末		理論値	FY2022期末
＊コロナ禍前を通常期と想定			
229億円	→ 原材料高騰 (× 1.15) 納期 (× 1.8) 円安 (× 1.1)	521億円	**500**億円

▶ **受注残高の積み上げを実施し、FY2023.1Qに安定水準へ**

© HOSOKAWA MICRON CORP.　All rights Reserved.

貸借対照表

- ✓ 好調な受注により契約負債(前受金)と現金預金が増加
- ✓ 円安により海外子会社の資産負債が共に増加

（百万円）

流動資産
58,495
（+11,306）

現金預金
25,617
（+5,674）

売掛金等
18,250
（+1,112）

有価証券
+1,999

固定資産
27,550
（+1,620）

有形固定資産
24,031
（+1,130）

独・米子会社の機械装置更新

米子会社(新会社)の土地取得。

（前期末比）

負債
32,287
（+5,107）

契約負債(前受金)
+2,496

有利子負債
▲145

純資産
53,758
（+7,819）

利益剰余金
35,320
（+2,792）

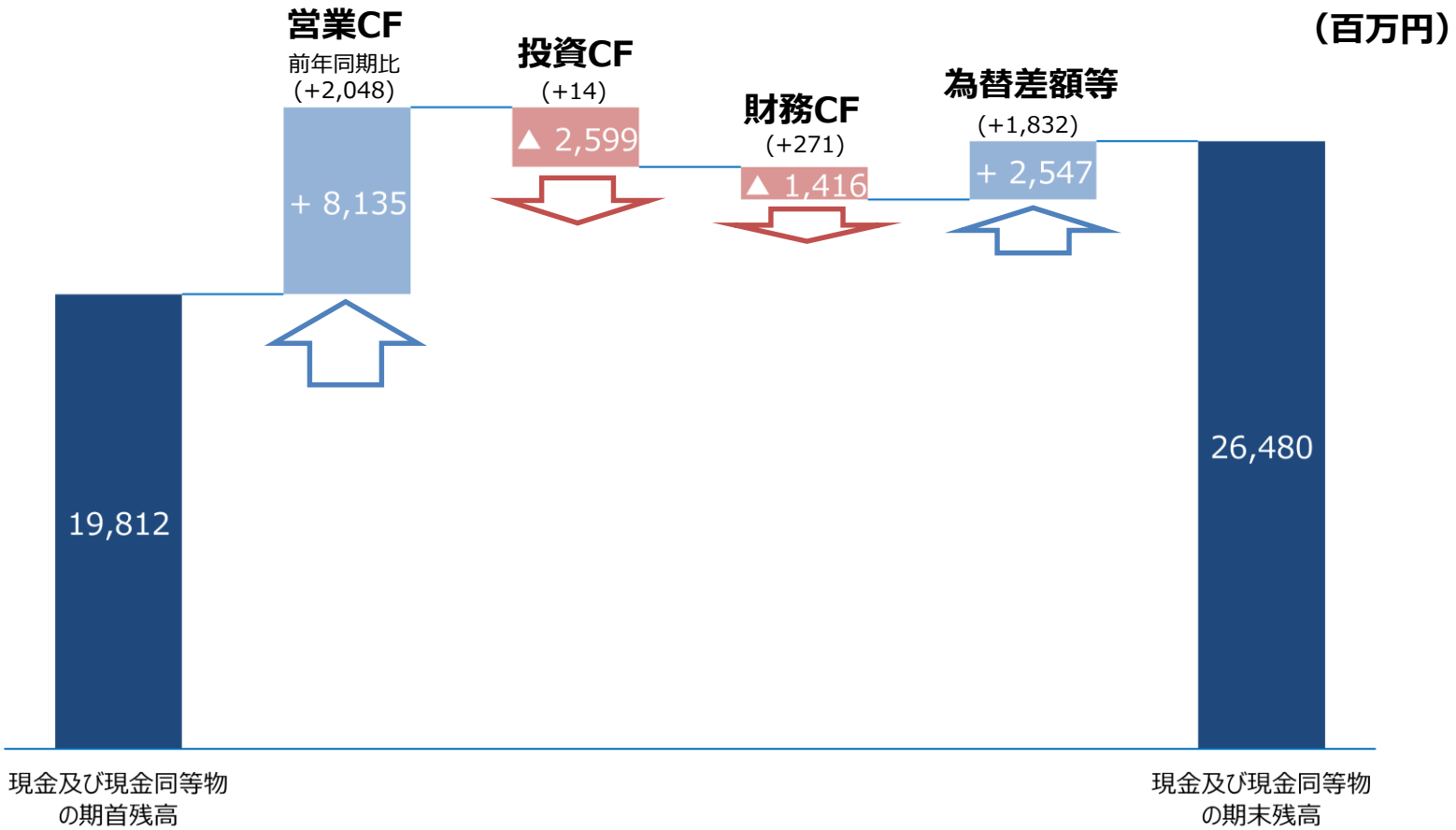
為替換算調整勘定
1,062
（+4,588）

円安影響

© HOSOKAWA MICRON CORP.　All rights Reserved.

キャッシュフロー

- 営業CF： 税金等調整前当期純利益は減益ながら、売掛債権の回収が進むなどで前期を上回る
- 投資CF： マイナスは主に有形固定資産及び投資有価証券の取得による
- 財務CF： 長期借入の返済、配当金支払いによりマイナスに
  （有利子負債残高　長期･短期合計：1,310 百万円）

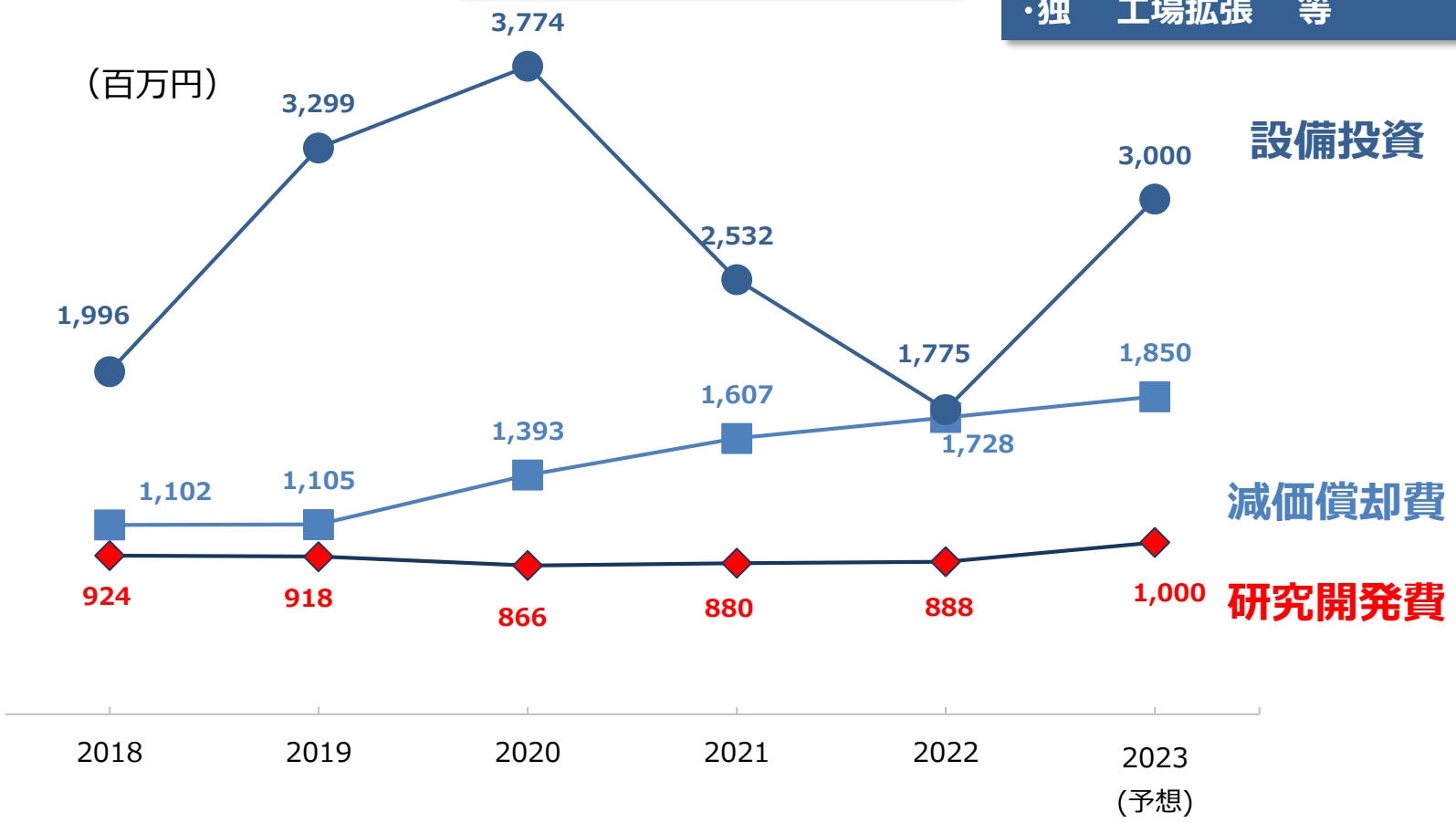


© HOSOKAWA MICRON CORP.　All rights Reserved.

研究開発費・設備投資・減価償却費の推移

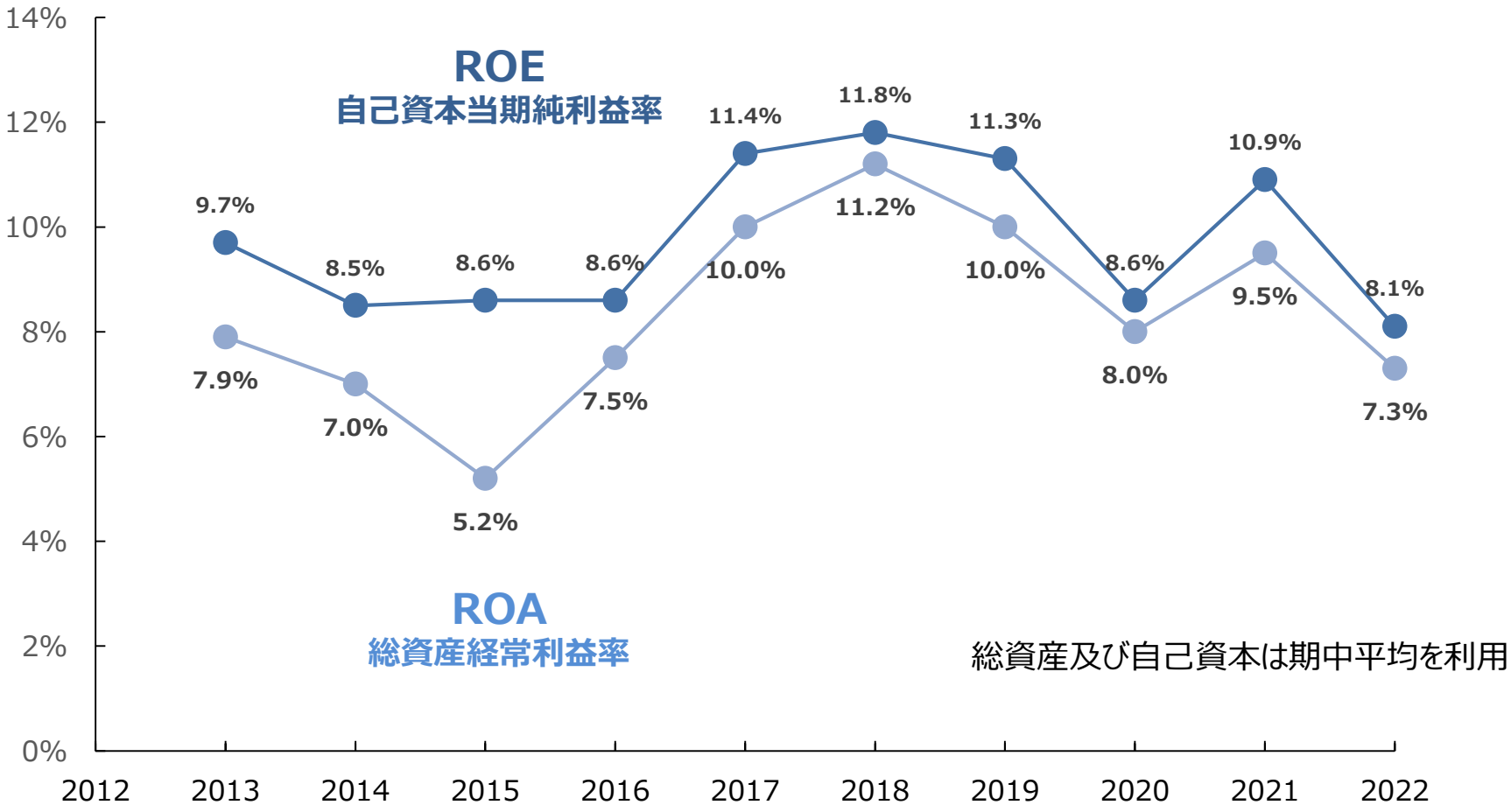
2022年度主な設備投資
- ・米　受託加工工場の移転拡張
- ・独　工場の拡張　　等

2023年度主な設備投資計画
- ・日　基幹システム更新
- ・米　工場建設
- ・独　工場拡張　等



© HOSOKAWA MICRON CORP.　All rights Reserved.

ROE,ROAの推移

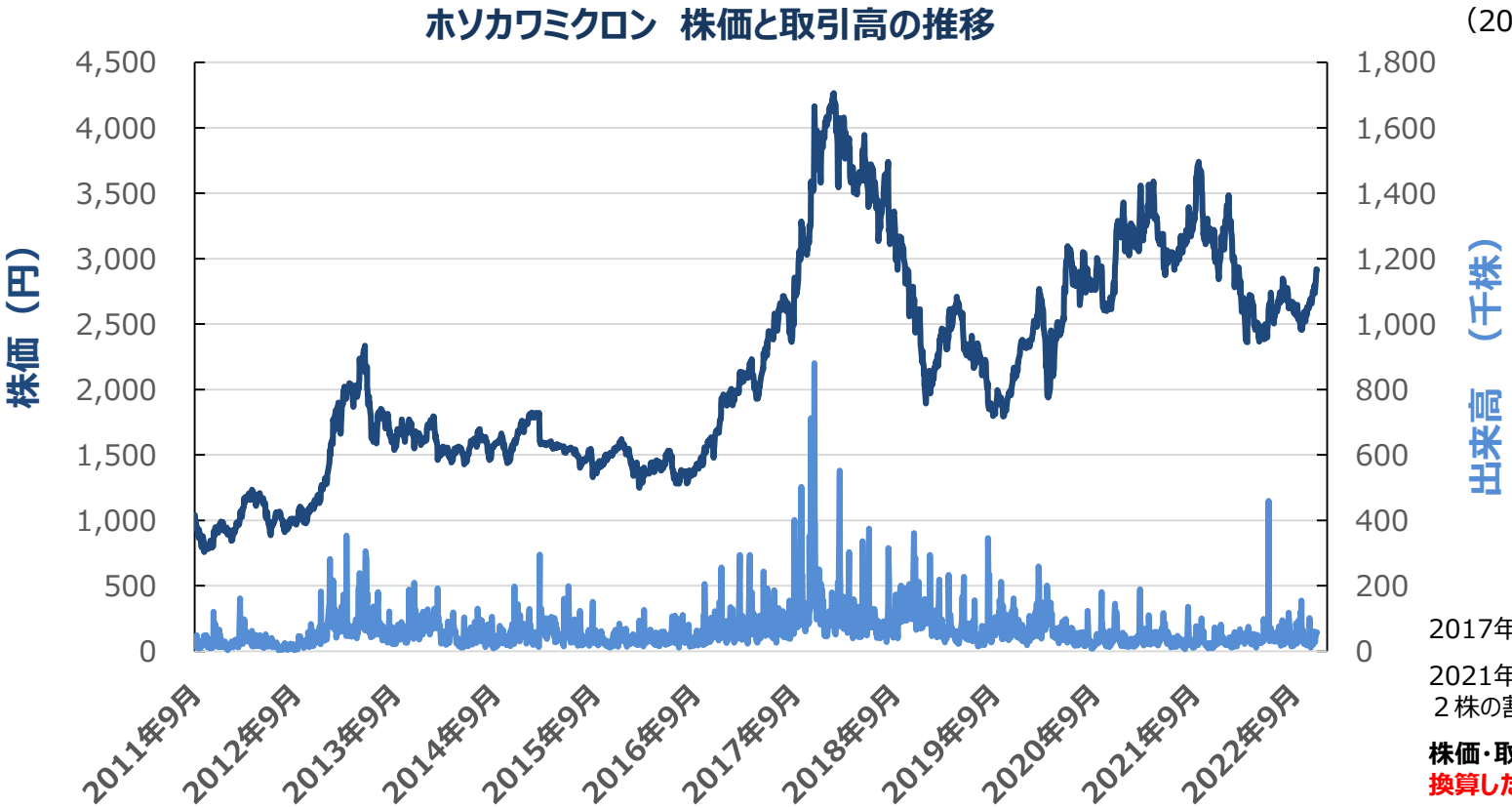


総資産及び自己資本は期中平均を利用

© HOSOKAWA MICRON CORP.　All rights Reserved.

株価の状況と配当

（2022年11月24日現在）



2017年3月29日に5株併合

2021年10月1日に１株につき２株の割合で株式分割

株価・取引高は現在の株式数で換算した値

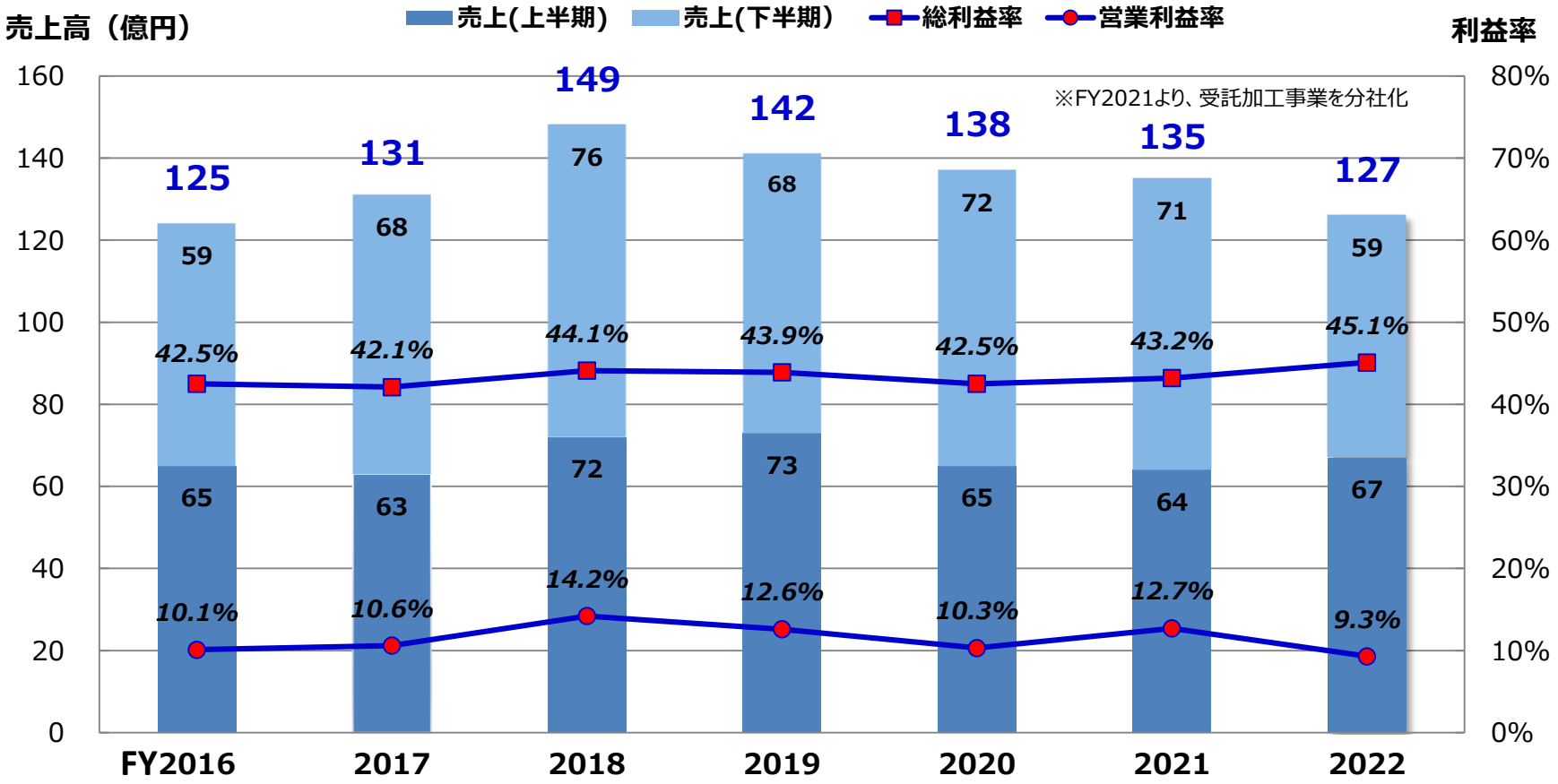
	年度	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
1株当たり配当金（円）現在の株式数で換算した値	中間配当	18.75	18.75	18.75	25.0	27.5	27.5	27.5	35.0
	期末配当	18.75	25.0	25.0	30.0	27.5	27.5	40.0	**40.0**
	年間配当	**37.5**	**43.75**	**43.75**	**55.0**	**55.0**	**55.0**	**67.5**	**75.0**

© HOSOKAWA MICRON CORP.　All rights Reserved.

2022年9月期 決算概要（単体）

- 受注は好調ながら（対前年比28.8%増）、納期の長期化により減収
- 材料費高騰の価格転嫁が浸透し、売上総利益率は1.9%p 改善
- 減収と販管費等の増加により大幅減益

※販管費に従業員向け譲渡制限付き株式報酬（RS信託）導入費用を計上



© HOSOKAWA MICRON CORP.　All rights Reserved.

1．2022年9月期 決算概要

2．2023年9月期 業績予想

3．中期3カ年経営計画の進捗とトピックス

4．参考資料

© HOSOKAWA MICRON CORP.　All rights Reserved.

2023年９月期 業績予想

以下の３つのポイントを加味し、業績予想を設定

① 納期：上期中に少しずつ改善し、下期には昨年期初程度まで短縮
② 物価：人件費の上昇とともに微増
③ 為替：換算上の影響はあるものの、事業そのものへの影響はない

（億円）	2023年9月期（業績予想）	2022年9月期（実績）	増減率(%)
売上高	700	669	4.6
営業利益	65	55	17.9
経常利益	65	57	12.6
純利益	45	40	4.8
1株当たり純利益(円)	277.49	247.11	4.9

受注　：納期短縮に伴い希薄化の可能性あり
注残　：第1Qまで積上げ、**安定水準を保ったまま徐々に減少**
売上　：現在の装置関連の納期は12ヶ月であり、短納期案件次第
販管経費　：物価上昇分＋アフターコロナにより増加
粗利　：追加値上げの実施＋**高付加価値領域の続伸**により更なる改善へ
営業利益　：昨年度までの値上げ分が**上期後半に収益性を改善**予定

© HOSOKAWA MICRON CORP.　All rights Reserved.

配当予想

- 配当（株主還元）は、2022年9月期に増配（配当性向30.4%）
- 総還元性向30%以上を方針とする

	年度	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
1株当たり配当金（円）現在の株式数で換算した値	中間配当	18.75	18.75	25.0	27.5	27.5	27.5	35.0	37.5（予想）
	期末配当	25.0	25.0	30.0	27.5	27.5	40.0	40.0	37.5（予想）
	年間配当	**43.75**	**43.75**	**55.0**	**55.0**	**55.0**	**67.5**	**75.0**	**75.0**（予想）

2017年3月29日に5株併合

2021年10月1日に１株につき２株の割合で株式分割

株価・取引高は現在の株式数で換算した値

© HOSOKAWA MICRON CORP.　All rights Reserved.

1．2022年9月期 決算概要

2．2022年9月期 業績予想

3．中期3カ年経営計画の進捗とトピックス

4．参考資料

© HOSOKAWA MICRON CORP.　All rights Reserved.

中期3カ年経営計画の骨子

グループ基本指針 ： **Challenge to be Global Standard**
～ ホソカワミクロングループの最先端技術を業界世界標準へ～

連結財務目標（FY2024） ：

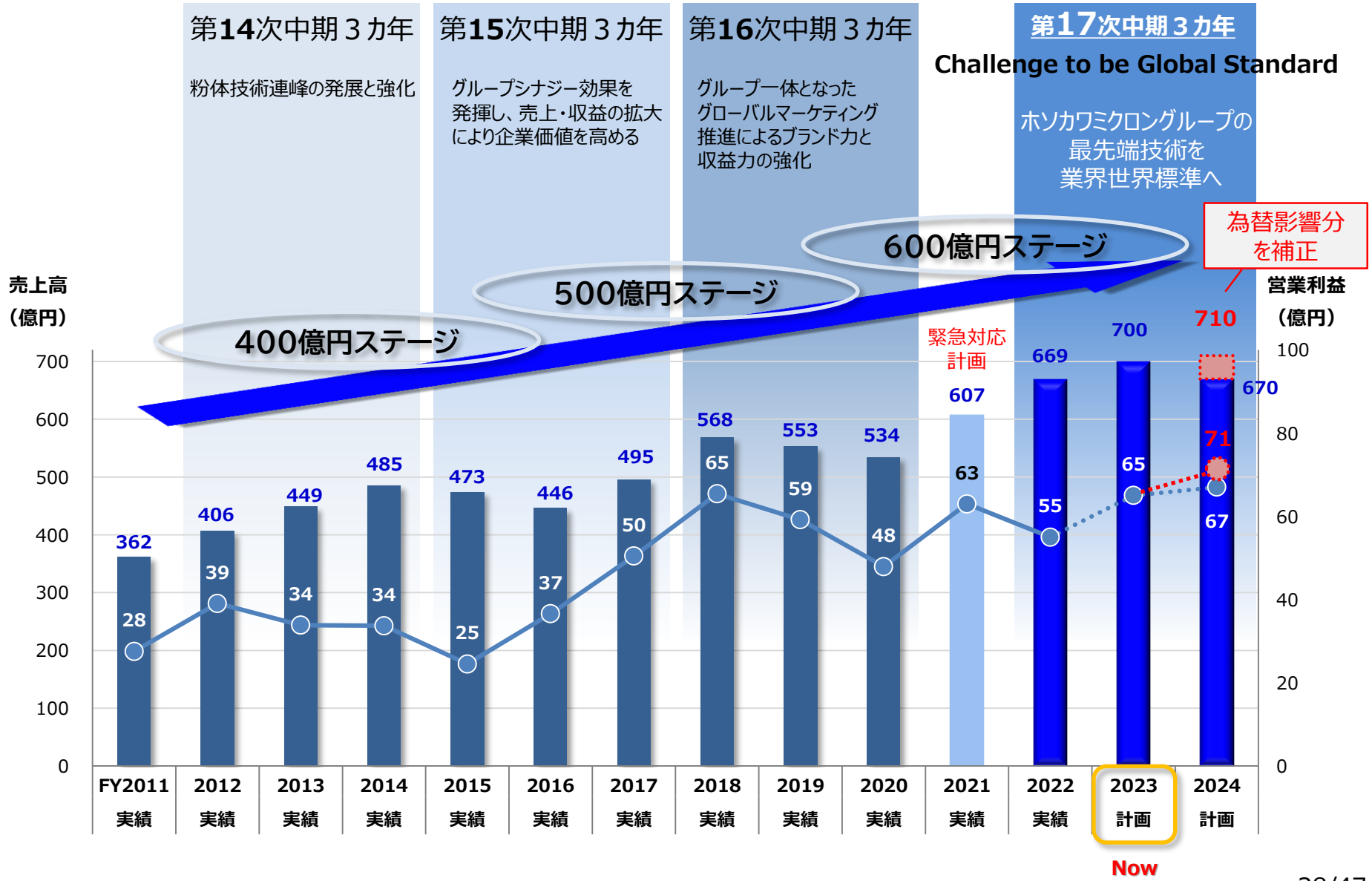
	売上高	営業利益	経常利益	純利益	ROE	総還元性向
為替影響分を補正	**710**億円	**71**億円	**71**億円	**49**億円	**10%**	**30%**
当初	670億円	67億円	67億円	47億円	10%	30%

５つの基本施策

- グループ連携強化｜マーケティング・製品開発
- デジタル革命
- ESG / SDGs
- 働き方改革・人材育成
- コーポレートビジョン
- 企業理念・社是

© HOSOKAWA MICRON CORP.　All rights Reserved.

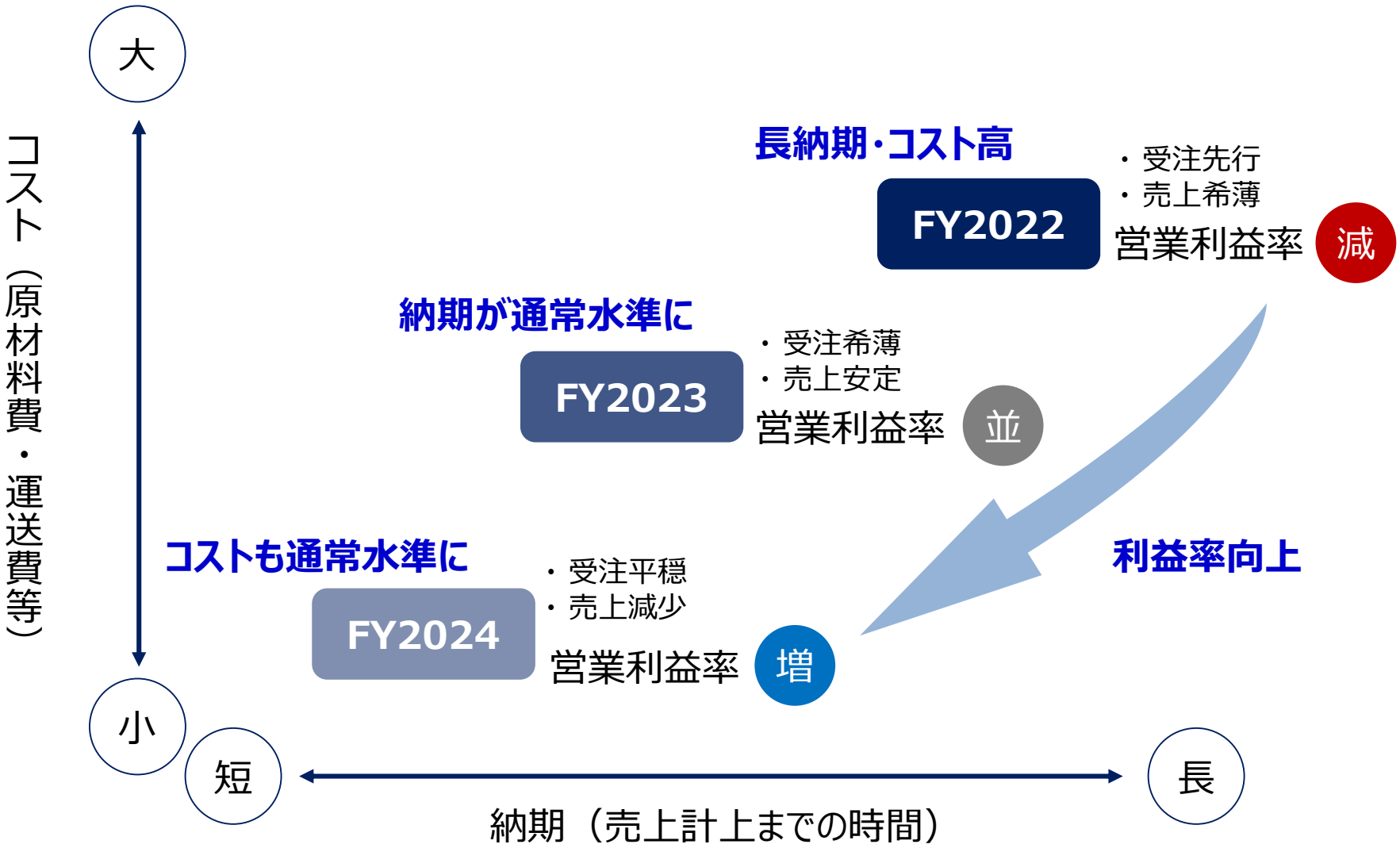
業績推移（連結）



© HOSOKAWA MICRON CORP.　All rights Reserved.

納期とコストの見通し

✓ 納期やコストが通常期に戻り、営業利益が増加していく見通し



© HOSOKAWA MICRON CORP.　All rights Reserved.

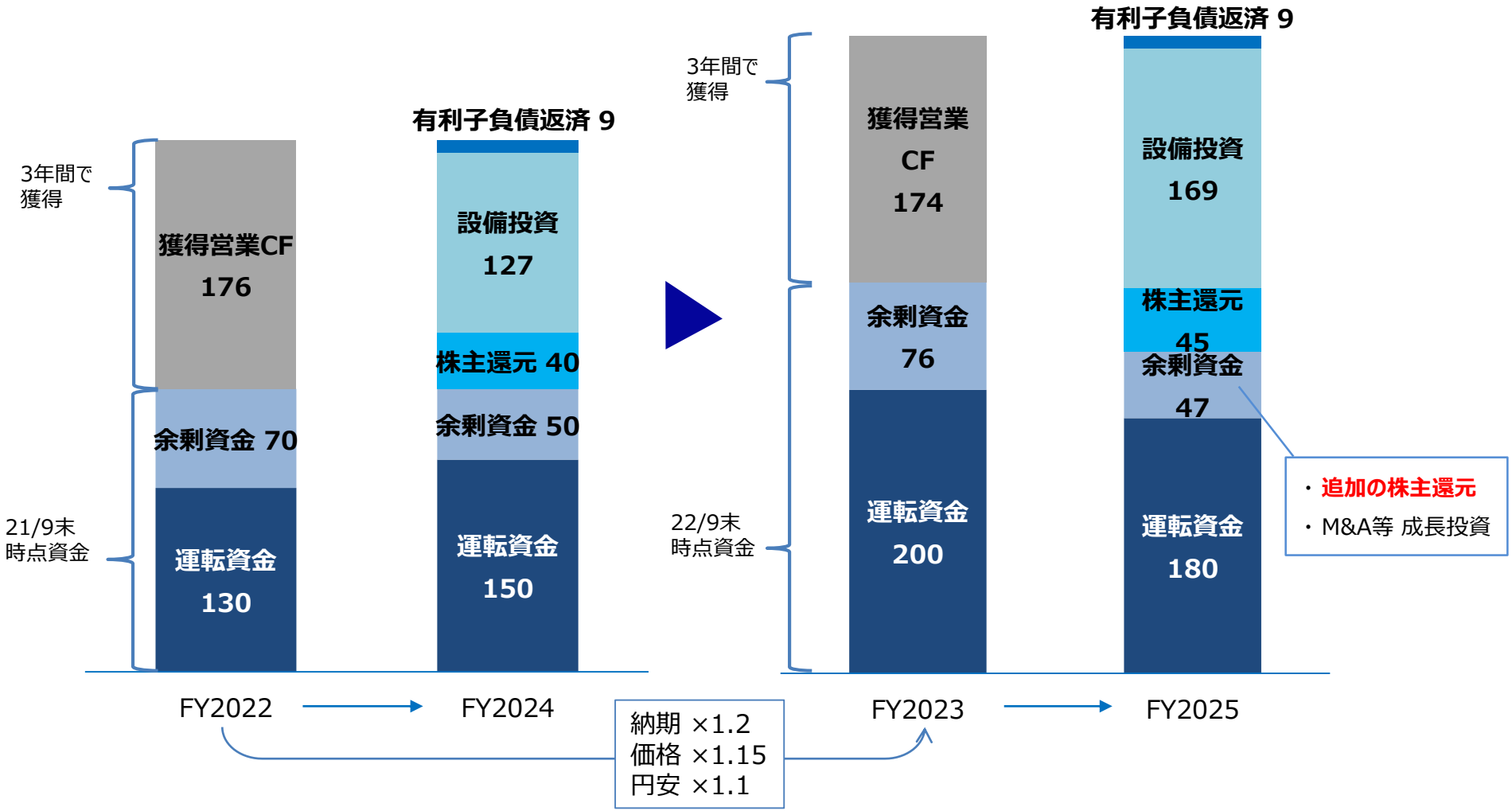
振り返り

主要施策	進捗	評価
グループ連携の強化	・アジアを中心に目標、施策を選定、実施 ・南米市場の販路拡大（チリにも販社設立）	△
デジタル革命	・ITグランドデザイン構築、SAP導入準備開始 ・GEN4データ収集継続	○
産業別マーケティング	・マーケティングオートメーションの導入 WEBサイト・メールマーケティングによる顧客開拓	△
働き方改革と人材育成	・オンライン研修開始（動画教材の充実） ・社内インターン制度準備、11月より募集開始	○
ESG/SDGs	・マテリアリティ決定、社内KPI設定 ・TCFDシナリオ分析の準備開始	○

© HOSOKAWA MICRON CORP.　All rights Reserved.

キャッシュ・アロケーション

✓ 足元は長納期化と円安により、運転資金は増加。
⇒3年後は納期の正常化を想定し、運転資金を最適化



© HOSOKAWA MICRON CORP. All rights Reserved.

中期経営における施策、今後の取り組み

FY2022 | FY2023 | FY2024

グローバルネットワーク拡充

- 4月：スイス 販売会社設立
- アメリカ ポリマーシステム事務所を ニュージャージに統合
- メキシコ、チリにHosokawa Solids販売会社設立
- ドイツ　ラボ機販売会社設立

- マテリアル 海外展開　中国、韓国、東南アジア諸国、中南米（チリ、メキシコ）

投資計画

- スペイン　HSSL統合
- 日本　新基幹システム導入（DXは2026年3月）
- 日本：受託加工新工場（24時間無人運転を目指す）
- ドイツ　新デジタルリモートサービス導入（第二期）
- ドイツ　福利厚生施設改修

© HOSOKAWA MICRON CORP.　All rights Reserved.

ESG経営への取り組み

ホソカワサステナビリティ委員会の発足 → マテリアリティの決定 → CO_2排出量算定（国内） → 統合報告のWeb公開（12月予定） → TCFDシナリオ分析チーム発足

E	持続可能な地球環境への技術的貢献
S	安全安心で豊かな社会の実現
G	事業を支えるガバナンスの高度化

国内の従業員を対象にRS信託を導入

従業員が、当社株式の株価上昇による経済的利益を享受できる

株価を意識した従業員の業務遂行を促す	勤労意欲や帰属意識、経営参画意識などを高める

© HOSOKAWA MICRON CORP.　All rights Reserved.

1．2022年9月期 決算概要

2．　2022年9月期 業績予想

3．中期3カ年経営計画の進捗とトピックス

4．参考資料

© HOSOKAWA MICRON CORP.　All rights Reserved.

会社概要

代表者	代表取締役社長 細川 晃平		
創業	1916年4月	資本金	144億9,600万円
設立	1949年8月	決算月	9月
株式	東証プライム　上場（2022年4月4日～）		
本社所在地	大阪府枚方市招提田近１－９		
従業員数	連結 1,870名 単体 395名		

※2022年９月末現在

JPX PRIME

2022年4月：創業１０６周年

© HOSOKAWA MICRON CORP.　All rights Reserved.

ホソカワミクロンについて

企業理念

粉体技術の開発を通して社会に貢献する

Corporate Vision

プロセス機器、システムエンジニアリングおよび新素材の開発、製造、実用化などにより次世代先端産業を創出し、**“粉体技術連峰”**の新たな展開を実現する

“粉体技術連邦“とは

ホソカワミクロンの**優れた製品や技術**を高い峰々に、
それを取り巻く**周辺技術やエンジニアリング**を裾野に捉え、連峰に見立てた

© HOSOKAWA MICRON CORP.　All rights Reserved.

ホソカワミクロンについて

事業内容

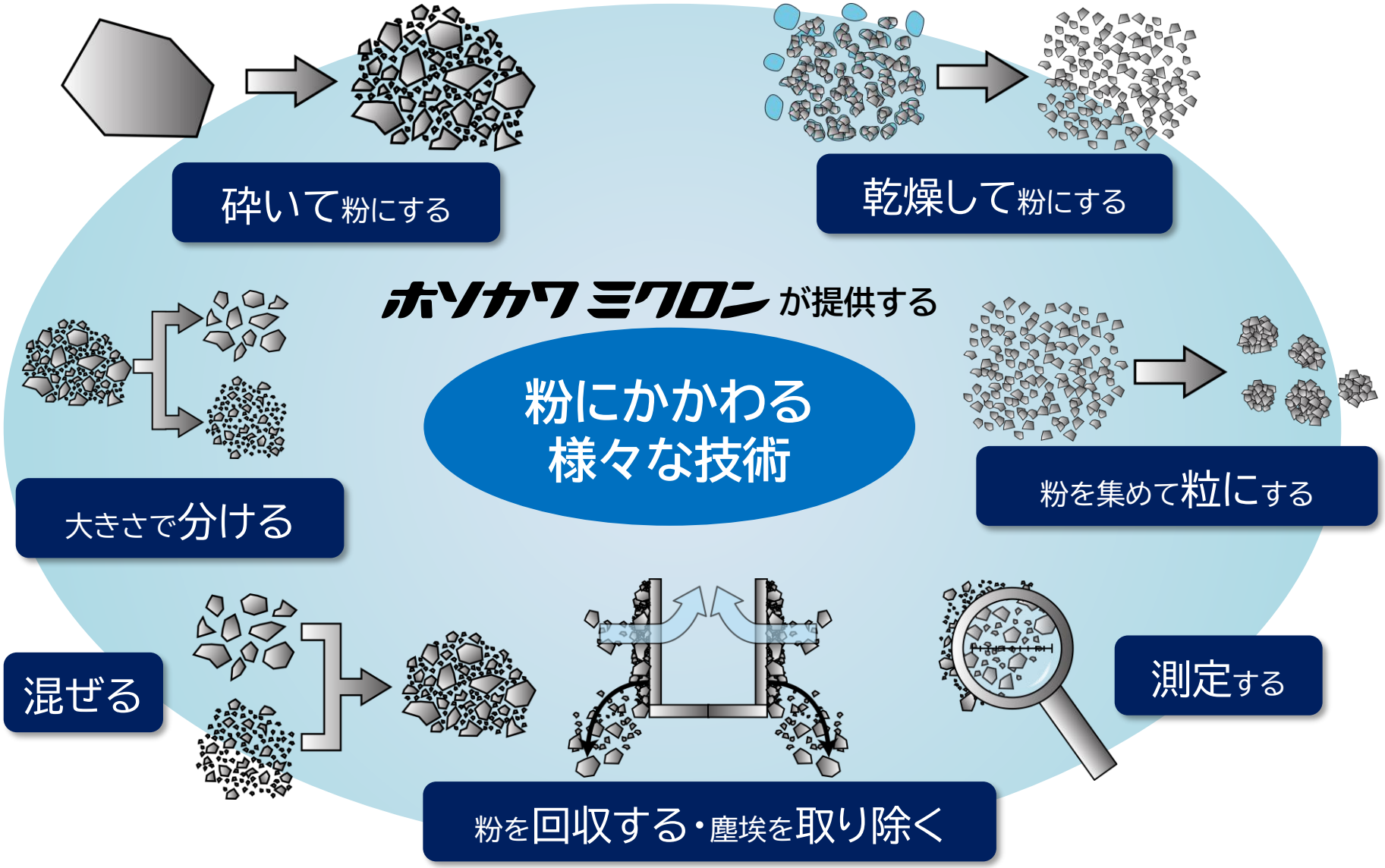
あらゆる産業分野を対象に、
粉体を取り扱う**機械・装置**及びそのシステムエンジニアリングを提供

事業領域

粉体関連事業と**プラスチック薄膜関連事業**の２事業を展開

© HOSOKAWA MICRON CORP.　All rights Reserved.

粉体技術



© HOSOKAWA MICRON CORP.　All rights Reserved.

粉体関連装置（二次電池･電子部品等の製造に貢献する製品一例）

二次電池材料（リチウムイオン、全固体電池を含む）の微粉砕

リチウムイオン電池原料の乾燥

電子部品の原料等の微粉砕

二次電池材料の原料を混合

二次電池材料の粒子一粒ずつを被覆、精密混合して機能性を高める粒子設計

ネオジム磁石原料の超微粉砕

各種原料であるミネラルの超微粉砕

© HOSOKAWA MICRON CORP.　All rights Reserved.

プラスチック薄膜関連装置（例）

インフレーション法によるフィルム製造装置

溶かした樹脂を空気で
膨らませて袋状に成形

半透明の部分がフィルム

システムとして提供
（巻き取り機、延伸機等も含む）

© HOSOKAWA MICRON CORP.　All rights Reserved.

取引分野

電池

二次電池正極材料：コバルト系、リン酸鉄系
コバルト系・マンガン系前駆体
二次電池負極材料：黒鉛、シリコン

合成樹脂

水道管：塩化ビニル(PVC)　フッ素コーティング：フッ素樹脂(PTFE)
PETボトル、化学繊維、産業資材用プラスチック：ポリエステル(PET)、CO-PET、ポリアミド(PA)、ポリイミド(PI)、スーパーエンプラ(特殊PA等)

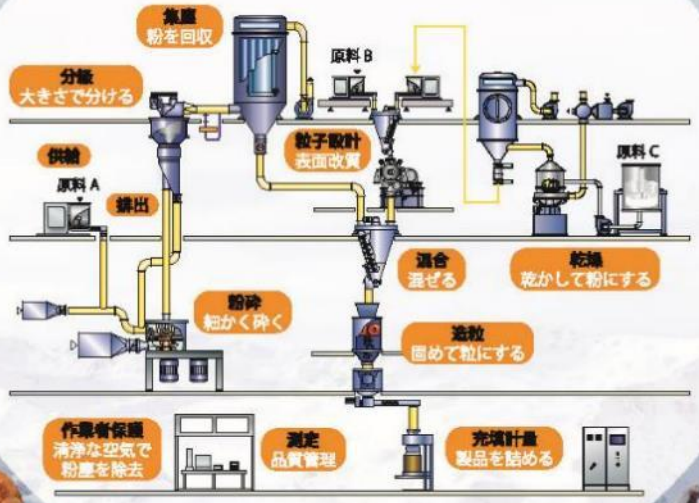
車

バンパー：タルク
タイヤ：カーボンブラック、ゴム
メタリック塗料：アルミニウム粉末

リサイクル

工場内リサイクル：フィルム両端、塩ビ窓枠、被覆銅線、廃タイヤ

機械(ハード)＋エンジニアリング(ソフト)



トナー、磁石、電子材料

トナー：樹脂、シリカ
シリコン製造用るつぼ：黒鉛
ネオジム磁石：希土類磁性材料
半導体封止剤：エポキシ樹脂、シリカ
積層セラミックコンデンサ：チタン酸バリウム

超硬材料

工具：タングステンカーバイド、シリコンカーバイド

クリーンルーム

製造工場：医薬品、食品、半導体
工場、研究開発：医薬品、ナノ粒子
病院：手術室

鉱物

建材：石膏、フライアッシュ、超微粉セメント、重質炭酸カルシウム
増量剤(フィラー)：軽質炭酸カルシウム、鉱石、粘土
歯科材料：セラミックス

大気汚染防止

焼却炉、ボイラー、溶融炉排ガス処理設備：高温排ガス集じん

食品

米粉、粉末茶、小麦粉、香辛料、カカオ、おから、でん粉、食物繊維、トマトペースト、増粘剤（カラギーナン）、インスタント食品(スープ、ココア)、ベビーフード、粉ミルク

農業

農業、顔料
肥料：硫酸アンモニウム、化成肥料

医薬

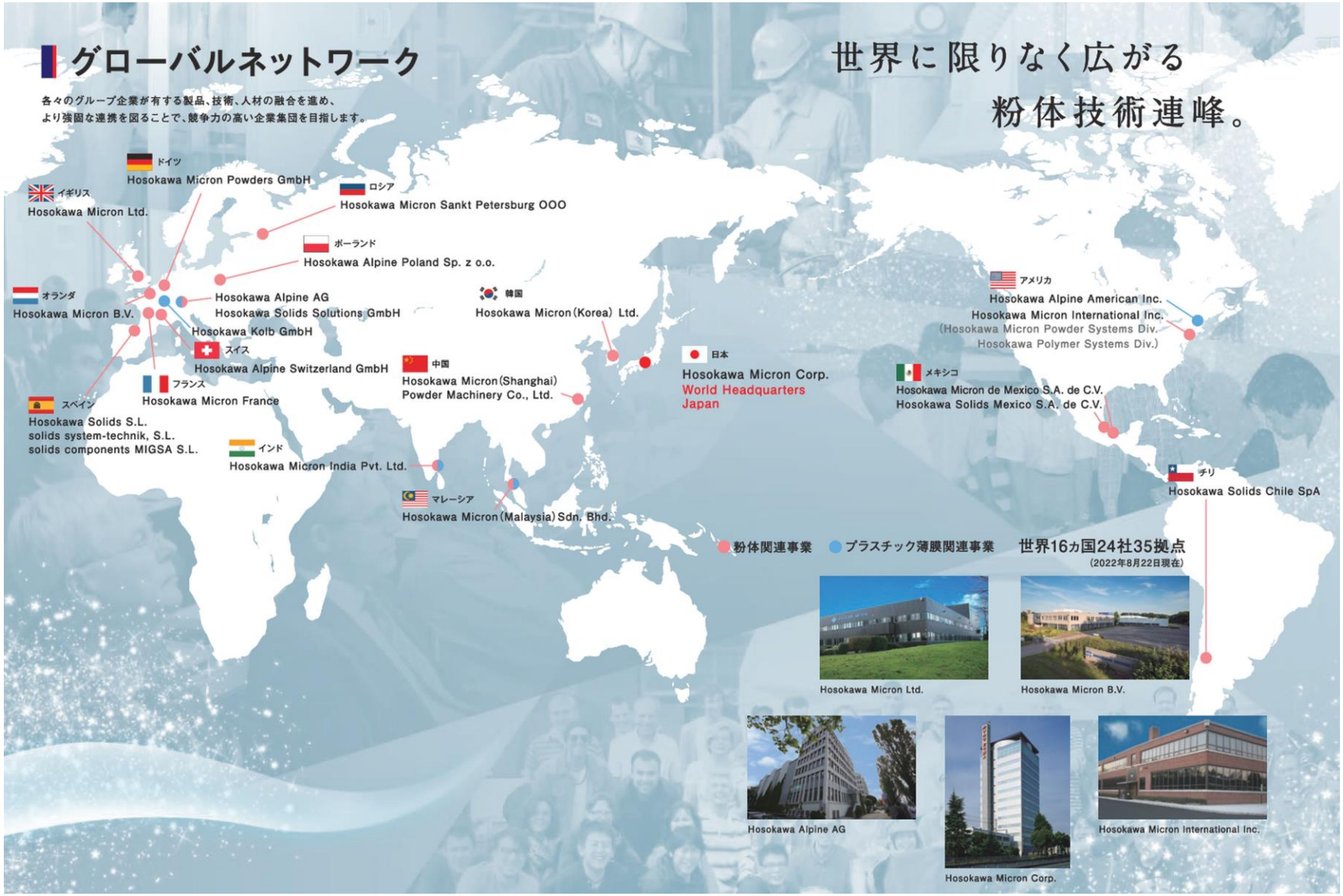
注射剤：薬剤、安定剤、緩衝材
散剤(粉薬)：薬剤、賦形剤、崩壊剤
錠剤・OD錠：薬剤、賦形剤、崩壊剤、滑沢剤、被覆剤

化成品

難燃剤：水酸化物
紙おむつ：高吸収性樹脂(SAP)
一般化成品：リン酸塩、顔料、染料、粉体塗料、セルロース(CMC)
化粧品：酸化チタン、酸化亜鉛、顔料
排ガス処理薬剤：重炭酸ナトリウム

© HOSOKAWA MICRON CORP.　All rights Reserved.

グローバル経営



© HOSOKAWA MICRON CORP.　All rights Reserved.

沿革

1916年	細川永一が大阪タービン製造所を創業
1949年	株式会社細川鉄工所　設立
1957年	東京支店　開設
1958年	細川粉体工学研究所　設立
1960年	イギリスにホソカワミクロン インターナショナル社 設立
1972年	イギリスにホソカワ ヨーロッパ社　設立
1973年	大阪府枚方市に本社事務所・枚方工場　竣工
1980年	ホソカワミクロン株式会社に商号変更
1982年	オランダ ナウタミックス社を買収
1985年	アメリカ USフィルターシステムズ社を買収
1986年	アメリカ ホソカワミクロンインターナショナル社 設立
1987年	ドイツ アルピネ社を買収
1991年	（財）ホソカワ粉体工学振興財団　設立
1992年	アメリカ ビーペックス・グループ企業を買収
	東京、大阪証券取引所１部上場
	奈良県五條市 奈良工場　竣工
	茨城県つくば市 粉体技術開発センター　竣工

1995年	海外販売拠点 設立　マレーシア(1995), 韓国(1996), フランス(1999), 上海(2005), インド(2007), ロシア(2012), タイ(2019), ポーランド(2020), スイス・メキシコ・チリ(2022)
2007年	新本社ビル　竣工（枚方市）
2009年	つくば受託加工センター　竣工
2010年	ホソカワ ビーペックス社（ドイツ）新テストセンター　竣工
2011年	日清エンジニアリング(株)と業務提携
2013年	新東京事業所　竣工　（柏市）
2014年	ホソカワミクロン化粧品（株）　設立
2015年	ドイツ アントンコルブ社を買収
	製菓関連事業を売却
2016年	**創業100周年**
2020年	ホソカワ受託加工（株）　設立
	ドイツ ソリッドソリューショングループを買収
2021年	新 大阪工場 竣工

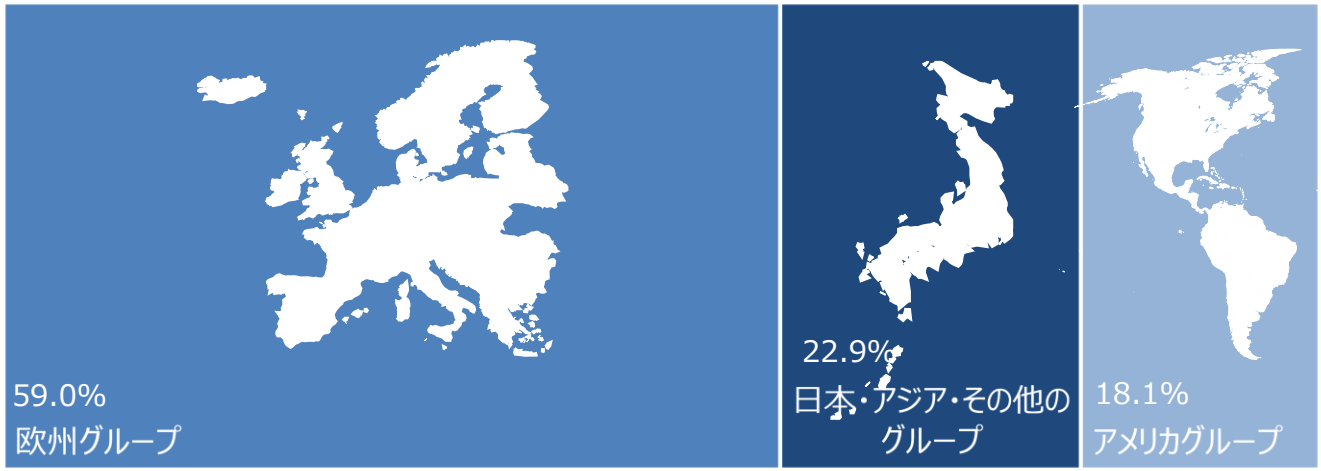
© HOSOKAWA MICRON CORP.　All rights Reserved.

売上高の状況（グループ所在地別）

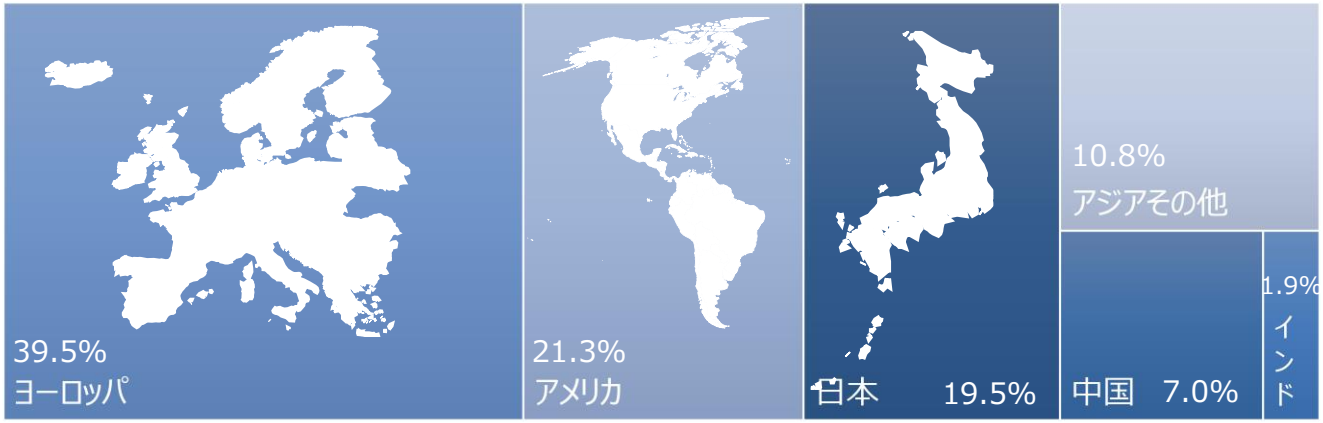
日本（アジア）・欧州・米州でバランスよくグローバルに事業展開

※四角の面積が売上高の大きさを表す

グループ所在地別



顧客所在地別



© HOSOKAWA MICRON CORP. All rights Reserved.

売上高の状況（グループ所在地別）

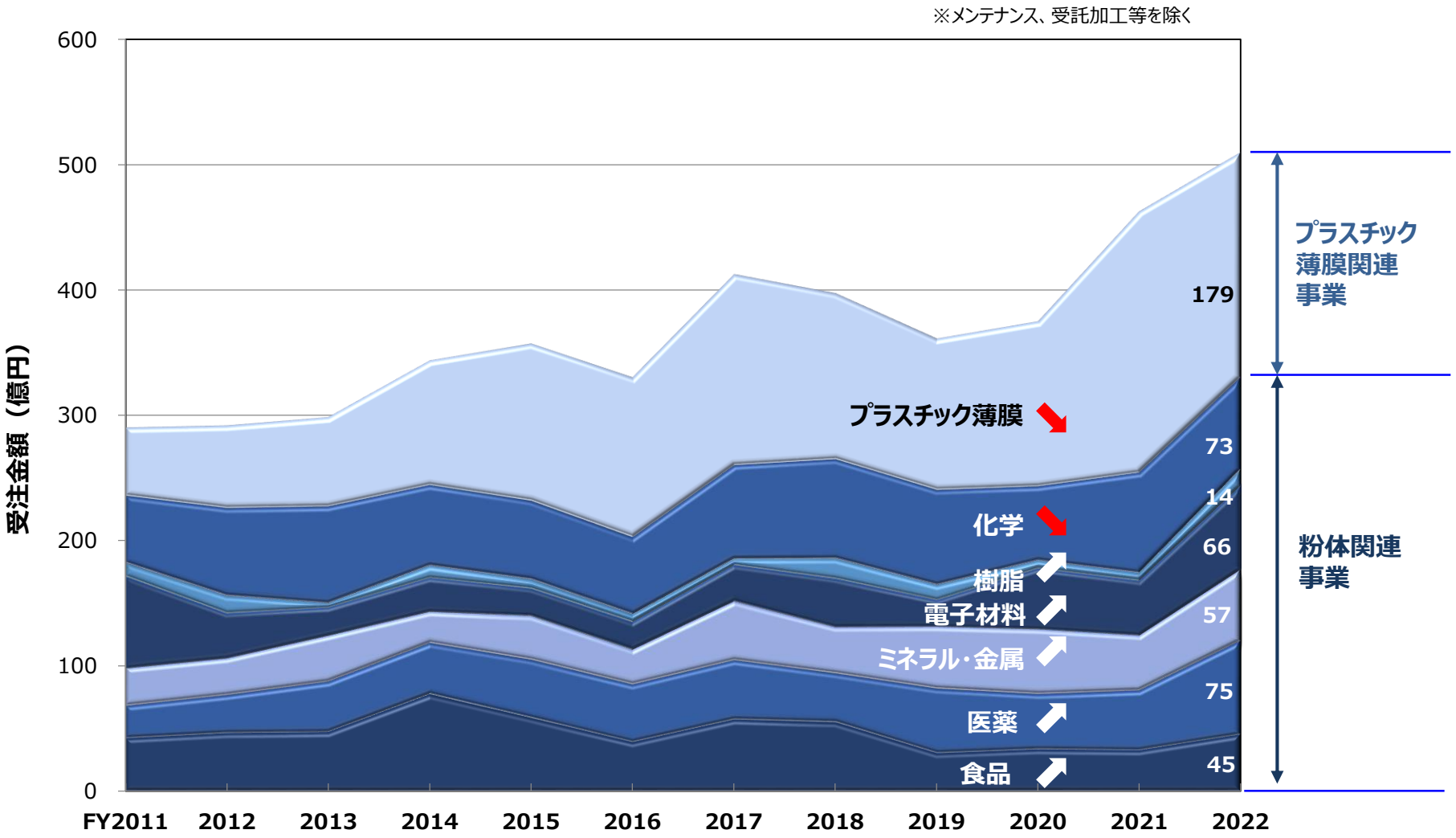
※四角の面積が売上高の大きさを表す

粉体関連
494億円

プラスチック薄膜関連
174億円

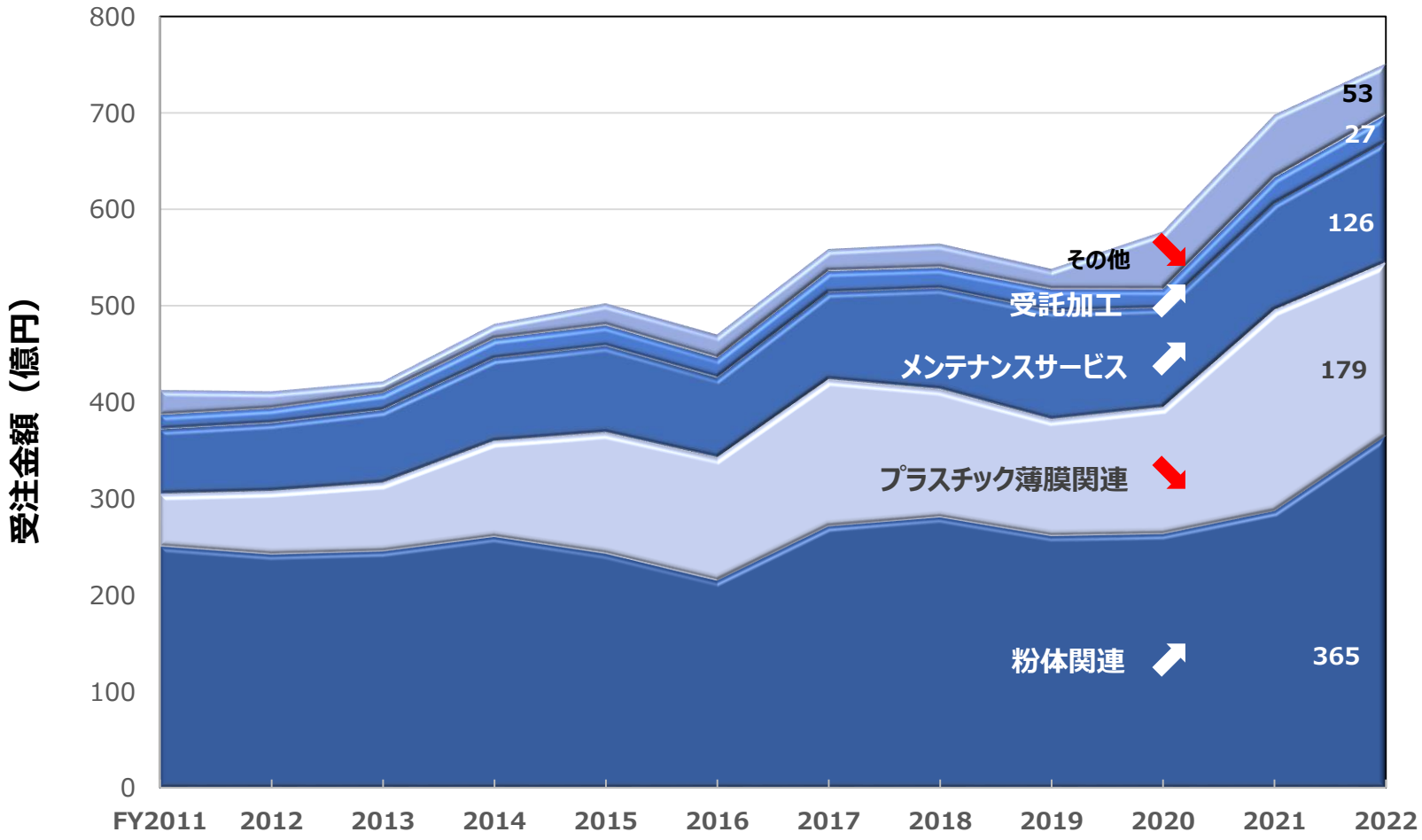
© HOSOKAWA MICRON CORP.　All rights Reserved.

受注高の状況（産業分野別）



© HOSOKAWA MICRON CORP.　All rights Reserved.

受注高の状況（業種別）



© HOSOKAWA MICRON CORP.　All rights Reserved.

本資料の無断での複製・転載・転送等はご遠慮ください。

© HOSOKAWA MICRON CORP.　All rights Reserved.